

おっちゃんだより

● 2020年5月3日

2016年に立ち上げた『野宿者を支援する会』は4年過ぎました。皆さまの協力で、何とかこれまでやって来られました。

今までの活動を人に話す時に「そんなすごい事やっているなら、ホームページ開くなり、facebookで紹介するなりしないと世間に訴えられないよ！」と時々言われます。

その通りですが、パソコン操作が苦手な私は今まで、報告が出来ませんでした。

今回、ネットワーク操作が上手な友達が「ホームページを開こう！」と協力してくれたので、皆さまにおっちゃんたちの声を代弁する形で報告、問題定義をしたいと思います。

まず、4年間の記録をたどって今まで出会ったおじさんたちを紹介します。

～弱く小さくされた人が、一人も取り残されない為に～
ひがしおかまきのホームページ
 団体名《野宿者を支援する会》



越冬突入挨拶



巡回相談

● 2016年11月24日 名古屋市内広域巡回を自転車で回った時の話です。

本格的に寒くなった頃、いつもの名古屋市中区中橋の下にいる山下さんを訪ねました。

山下さんは緑土土局からの紹介で3年前から回っていました。始めは留守が多く、なかなか会えなかったのですが、私たちが定期的に回っている事を知り、なるべく居てくれるようになりました。

岐阜にお兄さんが居る事、多分年金があるという事、もうそろそろ岐阜に帰ろうと思っている事などを話してくれました。

「山下さん！もう74歳なんだから、もう実家に帰ろう！福祉事務所には私が一緒に行くから！」と言うと「ありがとう！今度ね！」と笑うので「今度っていつ？」と聞くと「今度は今度！」とはぐらかしていました。

本格的な冬が来る前に今日こそ実家に帰る段取りをしようとその日も楽しみに訪ねて行きました。

ブルーテントから足だけが出ていて「酔っ払ってこんな所で寝ている・・・」と思い「やましたさん！」と足をつかんだ時、恐怖を感じました。足が凍っているのです。

腰を抜かした私は一緒に回っている仲間を大声で呼んで、見てもらいました。凍死していました。

救急と警察を呼び体が震えました。知っている事をすべて警察に話、身元を探してもらおう事にしました。こういう時に「なんで、昨日の夜に声をかけられなかったのか？」「昨日の夜に見つけてあげられなくてごめんね・・・」と後悔ばかりです。

私たちの活動は野宿している人に食糧を持っていき、世間話をしながら安否の確認をしています。こういう事になると「何の為にやっているのか？」分からなくなってきます。

私たちは、このどこへも行きようのない怒りと悲しみを抱えてこの活動をする覚悟が必要だと再確認しました。ただ一つの救いは山下さんは、岐阜のお兄さんの所に帰られたと福祉事務所の人が教えてくれた事です。

野宿の方の集めたアルミ缶
名古屋でも1,2を争う



セカンドハーベスト名古屋倉庫

巡回相談



●発行者「野宿者を支援する会」代表 東岡牧

連絡先：higashiokamaki@yahoo.co.jp

ホームページ：http://higashioka-maki.net/

活動拠点：名古屋市中区新栄2-36-5『野の花』寄付の受け付け：ゆうちょ銀行：記号12090 番号14146781『野宿者を支援する会』

●編集後記

年に2回ほど、秋号、春号と発行する予定でした。日ごろどこへも伝えられないおじさんたちの気持ちを報告したいと思っていたのに、長い間報告できなくてご支援していただいた方に申し訳ない思いです。

今後は定期的な報告や情報提供をしたいと思いますので、引き続きご協力、よろしく願います。